

英語を楽しく

No.188

☆ 英単語の意外な変身「nice」は元々、「馬鹿な」と言う意味だった。

単語の意味は時代によって変わるもの

nice ばかな → 好みのやかましい → よい

lady パンをこねる人 → 貴婦人

steward 豚の番人 → 航空機の乗務員

注 現在では steward の言葉は使いません
flight attendant を使います。

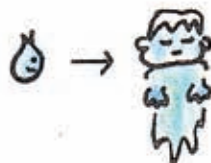
silly 幸福な → 無知な → 愚かな

ghost 魂 → 幽霊

order 列 → 秩序 → 命令

girl 子ども → 女の子

worm 蛇・爬虫類 → (いも)虫



意味が同じで単語のつづり方が変わったもの

brid → bird (鳥) r と i を入れ替えた

thridda → third thridda から da を発音しなくなった



意味も綴りも変わったもの

triumph (凱旋) → trump (切り札) i と h がなくなった

estudier (勉強する) 古いフランス語 → study (勉強する) 前後の e と r が取れ、ie が y に変わった。(ただし study に s をつけるときは y を ie に変えて s をつける約束が今も生きている。)

このようなことは日本語にもあります。例えば、

新年おめでとうございます。新しい(あたらしい)年になりました。

心新たに(あらたに)がんばります。

といった文では、

あたらしいとしの たら と 心あらたにの らた とが入れ替わっていますね。このような変化は、人々が発音しやすいように言い換えたから起きたと考えられています。